

平成 23 年 6 月 24 日

省エネ出張診断・相談報告書(フジグラン宇部)

日 時 平成 23 年 6 月 9 日(木)9:00～20:00

10 日(金)9:00～20:00

11 日(土)9:00～19:00

場 所 フジグラン宇部 1F グランモール

担 当 者 松井民男 春木英治(文責)

実施内容 パネル展示による省エネの啓発と省エネ相談、診断窓口を開設した。

■パネル展示

- ・省エネ ACTION「節電中」(環境省)
- ・7つの省エネアクション(環境省)
- ・環境月間ポスター(環境省)
- ・被災地復興支援アクションキャンペーンポスター(政府広報)

■省エネ診断、相談

- ・「家電の使い方診断」(診断項目 12 項目)をモニター画面に表示し、回答を聞き取り、パソコンに入力、処理後、診断結果をプリントアウトして認定表彰した。
- ・診断は項目毎に、「できている」:3 点、「少しできている」:2 点、「あまりできていない」:1 点、「できていない」:0 点 の 4 段階で評価、総得点数で診断した。
- ・診断結果は総得点数により、**金賞**(92 点以上)、**銀賞**(91～81 点)、**銅賞**(80～50 点)、**努力しましょう**(49 点以下)として認定書を発行した。認定書には、項目毎に点数と努力すれば削減できる電気料金及び二酸化炭素排出量を記載し、全体で削減可能な電気料金、二酸化炭素排出量及び二酸化炭素を吸収する杉の木の本数を記載した。
- ・認定書を手渡す際に、点数の低い項目について改善点等のアドバイスをを行った。
- ・東日本大震災の被災地を応援するため、政府広報HPにならって、「応援アクション」として、カードに「〇〇で応援しよう」と記入してもらい、パネルに貼付していった。
- ・診断者数:3 日間合計 84 人(9 日:23 人、10 日:30 人、11 日:31 人)
- ・相談・質問数:11 件
- ・復興アクション協力者数:約 100 人



診断風景



展示パネル



復興アクション

診断結果

質問内容と回答者数

受診者数84人

できている
 あまりできていない
 少しできている
 できていない

人数

No.	質問内容	10	20	30	40	50	60	70	80	84	
1	冷房は28℃以上の設定を守る	44				35				5	1
2	暖房は20℃以下の設定を守る	48				28				7	1
3	不在部屋の冷房はこまめに消す	78								5	1
4	不在部屋の暖房はこまめに消す	77								6	1
5	エアコンのフィルターをこまめに掃除する	50				22				11	1
6	冷蔵庫を壁から適切な間隔を置いて設置する	69							14		1
7	冷蔵庫の設定温度を適切な温度にする	38			43					3	
8	冷蔵庫にものを詰め込み過ぎない	59					23				2
9	待機電力をなくすように家電を使わない時は主電源を切ったり、プラグをコンセントから抜いたりする	59					23				2
10	白熱電球の代わりに電球型蛍光灯を使用する	69							15		1
11	照明は不要時こまめに消す	63					20				1
12	テレビは点けっぱなしにせず、見たい番組のときだけ点ける	58					19			7	1

考察・感想

- ・ 省エネ診断では、各質問に対して、「できている」、「少し出来ている」の回答が多く、受診者の多くは省エネを意識して取組んでいるようだった。
- ・ 買い物客を省エネ相談・診断のブースに呼び込むためには、窓口を開いていることを知らせるパンフ等を配布するなどの工夫が必要である。
- ・ 「省エネ診断はいかがですか？」と呼びかけるより、「省エネについてご質問、ご相談はありませんか？」や、「省エネアンケートにご協力下さい。」等、わかりやすい言葉を用いた方がよいと思われる。
- ・ 復興キャンペーンのメッセージカード記入には快く応じてくださったので、今後も継続する価値はあると思われる。

以上